

【報告】

8月9、10日に教育研修センターにおいて、夏季研修会が行われました。お忙しい中、二日間で延べ100名を超える先生方が参加してくださいました。心から感謝申し上げます。以下に主な研修内容をご報告致します。

【8月9日】

1 九州大会研究発表協議

西米良村立西米良中学校の草刈淳先生から、九中社北九州大会の研究発表についてご提案がありました。冒頭、研究に取り組むにあたって、改めて自身の授業作りを見つめ直し、熱い想いをもって授業作りをされたという話がありました。

今回の研究は、教材研究ではなく、教育内容開発であり、社会的ジレンマを、社会的な見方や考え方の一つとして、授業を展開していくという提案を九州大会でしてきたいとのことでした。会場からは、「社会的な見方・考え方の定義を明確にしておく必要がある。」や「人権の単元で扱う以上、人権の教育内容をしっかりと押さえるべきでは。」などの意見が出されました。



※学習指導案は県社研ホームページの会員専用ページからダウンロードできます。

2 社会科教育学研究の余白

宮崎大学藤本将人先生から、社会科教育学研究の余白ということで、普段、先生が研究をしながら考えている研究以外のことについて講義がありました。先生から、私たちが授業をするにあた

り「正しい言語使用（編む）の力が必要。言葉をきちっと使う力（編む）が必要である。」というお話がありました。また、「論文の読み方がわかれば書き方がわかる、書き方がわかれば授業が上手くなる。」というテーマで、論文の正しい読み方を中心に、正しい言語使用についての講義をしていただきました。

※藤本先生のご厚意により、講義のレジュメを県社研ホームページのトップページに掲載しています。

3 学習指導案の見方

午後の最初の講義として、宮崎東中学校校長の高橋祐二先生から、学習指導案の見方についての講義がありました。先生のこれまでの社会科教諭としての経験を交え、「思考とは何か」「問いと答えの関係とは何か」「教材とは何か」というお話がありました。特に「問い」に対する「答え」を「吟味」をさせ、「新たな問い」を生ませる授業の流れが大切であるという言葉に多くの先生方が頷く姿が見られました。そして、今一度、県社研が取り組んできたものを見直してみる必要があると提言をされ、講義を締めくくられました。

4 県北大会指導案検討

研修1日目の最後は、11月24日に予定されている県社研県北大会の指導案の検討に取り組みました。今年度の授業者は、日向市立富島中学校の黒木千恵子先生、延岡市立岡富中学校の福嶋章先生、延岡市立西階中学校の早田泰大先生の3名となっています。

今回は、お忙しい中、上記3名の先生方に、指導案を作成していただいたの検討会となりました。今回の研修では、多くの先生方の意見をいただけるよう話し合いの形を、小グループに設定して行いました。それぞれのテーブルでは、様々な意見が出され、白熱かつ建設的な話し合いがされました。今後は、今回出された意見を踏まえて、県北地区を中心に勉強会を重ねていくとのこと

でした。多くの先生方のご協力に感謝いたします。



【8月10日】

5 子どもの学びを高める社会科授業のあり方について～県立高等学校入試等の分析を通して～

2日目の最初の講義は、宮崎県教育研修センターから永富雅樹指導主事をお招きしました。講義内容は、県立入試等の分析を通して授業改善を考えてみるというものでした。特に正答率の低いB問題を例に、思考力・判断力・表現力等を問う活用問題を分類し、それらを解く力をつける授業展開の提案がありました。

6 新学習指導要領について

続いて、宮崎県教育研修センターの田村智宣指導主事から新学習指導要領の考え方についての講義がありました。

改定の要点として、「社会に開かれた教育課程」の中で、①何ができるようになるか、②何を学ぶか、③どのように学ぶかを教師自身がしっかりと持っていなければならないということでした。しかし、現行学習指導要領からまったく新しい指導方法を導入しなければならないと捉える必要はないということもお話しされました。

※講義で紹介された文部科学省からの資料は県社研ホームページにリンクを掲載しています。

7 租税教育について

宮崎地区租税教育推進協議会から、過去の租税

教室の例の紹介があり、ぜひ各地区のサポートセンターをご活用くださいとのことでした。

8 授業実践報告

今年度の研究部総会でのツールミン・モデルの研修を受け、日南市立飫肥中学校の中武秀一郎先生が授業実践されての感想や今後に向けた報告がありました。修養されたことをすぐに授業に取り入れていこうとする中武先生の素晴らしい気概を感じる内容でした。研究部長から、今後の宮崎県社会科を担う人材として、県全体としてバックアップしていきたいと言葉もありました。

9 解いてみよう県立入試問題

研究部総会に引き続き、宮崎大学教育学部附属中学校の鬼塚拓先生に講義をしていただきました。先生は、県立入試問題を、非常にわかりやすく分析し、丁寧に解説をしてくださいました。またツールミン・モデルを使っての分析もあり、総会に引き続き、私たちの授業改善の一助としての有用性を示していただきました。授業づくりのツールの一つの提案として非常に興味深いものとなりました。

10 総括

お忙しい中、2日間ずっと研修に参加して下さった宮崎大学藤本先生から、今研修の総括をいただきました。

※藤本先生のご厚意により、総括で使用されたスライドを県社研ホームページの会員専用ページに掲載してあります。

(文責：佐土瀬英嗣)